

I. 令和8年度実施「学校評価アンケート」について（自己点検・自己評価報告書）

学校としては、毎年その年度の教育活動を総括し、次年度に向けての課題を探ってきました。取組みについて、生徒、保護者からも「学校評価アンケート」という形で評価を受け、教育活動の点検と、改善に生かしていきたいと、ご協力をお願いした「生徒・学生・保護者アンケート」の結果及び「教職員による自己評価アンケート」の結果につきましては別表の通りです。

このアンケートの結果につきましては、保護者会にて報告しています。

II. 「アンケート」結果の見方について

- (1) 評価項目については、次の4段階【A：良くあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：全くあてはまらない】で回答をお願いしています。

評価レベルとしてはABを肯定評価、CDを否定評価としてとらえ、課題を整理してみました。

- (2) 高い評価を得た項目については、その評価を落とすことなく更に充実した取り組みを致します。

- (3) 生徒・学生（商業科・専攻科）共に80%以上の高い評価を得た項目
今年度において、商業科・専攻科ともに高い評価を得た項目が多く取り組みの結果と考えます。
今後においても引き続きその評価を落とすことなく更に充実した取り組みを致します。

評価項目	商業科	専攻科
私は、学校から保護者へのプリントは必ず渡している。	95%	100%
私は、授業中、集中して学習に取り組むように心がけている。	85%	100%
本校の行事予定・警報発令時等の対応について、生徒や保護者に分かりやすく伝えられている。	84%	91%
本校が、保護者に出す文書・事務連絡等は適切である。	95%	100%
本校では、保護者会の活動は活発であると感じられる。	80%	100%
教職員はお互いを理解し合い、信頼関係を大切にしながら学校運営に取り組んでいると感じられる。	85%	82%
本校は、わかりやすい授業を行っていると感じられる。	93%	82%
本校の先生は、授業や教科の質問に対応してくれる。	93%	91%
本校は、生徒に社会生活におけるモラルやルールを守る態度を育てようとしている。	84%	82%
本校の先生は、色々な問題があったとき丁寧に対応してくれる。	87%	82%
本校の先生は、生徒の悩みや相談を聞いて丁寧に対応してくれる。	82%	82%
本校の生活指導について、先生方の指導は適切である。	84%	82%
本校は、生徒に人権を尊重する意識を育てようとしている。	85%	82%
本校では、他の人に知られたくないプライバシー（個人情報）は守ってくれる。	87%	82%
本校は、生徒が健康で健全な学校生活を送れるように努めている。	93%	82%

- III. 否定評価において、79%以下の項目があり改善策等が必要な項目と考えます。
今後も生徒の心に響く、より丁寧な指導を追求したいと考えていきます。

評価項目	商業科	専攻科
私は、授業中、集中して学習に取り組むように心がけている。	82%	73%
私は、この学校に信頼できる・悩みなど相談できる人(友人・先生など)がいる。	85%	64%
私は、学校生活が充実していると感じている。	78%	73%
本校では、それぞれが自分の意思を表現しやすい環境である。	89%	73%
本校は、H.R.の時間などで豊かな心を持ち、自分の生き方を考える機会がある。	84%	73%

IV. 『教職員による自己評価アンケートについて』

肯定評価が多数ではありましたが、教職員の研修についても主体的に取り組み、また継続的に行っていきます。
今後も生徒の心に響く、より丁寧な指導を追求したいと考えております。
引き続き教員研修は下記の通り実施して参ります。

【教職員研修】

必要な教育課題で校内研修を実施し、教職員の教育力向上に努めていくためには教職員研修は欠かせません。
毎年下記の学会や研修等に参加・発表しております。
卒業生の進路先の見学、施設運営を学び、在学中に取り組むべきことを精査しております。

実践研修講座（全国専攻科研究会） ・ 全国専攻科研究会全国大会
日本LD学会 ・ 日本特殊教育学会 ・ 日本教育心理学会 ・ SNE学会 等

V. 商業科・専攻科の保護者にほぼ全ての項目において80%以上の高い肯定評価を得ました。

肯定評価が79%以下の項目は、ありませんでした。
今後においても79%を下回ることはないように、保護者と密に連携をとり共に生徒・学生を中心として取り組んでいきます。

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析	学校評価委員会からの意見
肯定的評価の概況（80%以上） ・商業科生徒・・・20項目中、19項目（95%） ・専攻科学生・・・20項目中、15項目（75%） ・保護者・・・20項目中、20項目（100%） ・教職員・・・20項目中、20項目（100%） 肯定評価が79%を下回る項目 【生徒・学生】 ○改善を要する項目 私は、授業中、集中して学習に取り組むように心がけている。（専攻科73%） 私は、この学校に信頼できる・悩みなど相談できる人（友人・先生など）がいる。（専攻科64%） 私は、学校生活が充実していると感じている。（商業科78%、専攻科73%） 本校では、それぞれが自分の意思を表現しやすい環境である。（専攻科73%） 本校は、H.Rの時間などで豊かな心をもち、自分の生き方を考える機会がある。（専攻科73%） 【保護者】 改善をする項目については、ありませんでした。今年度、肯定評価のみであった。これからも生徒・学生に向き合い、人間関係づくりに重点をおき、コミュニケーションについて取りこんでいく。 学校行事・課外活動により、学校外での活動を今後も積極的に行き、小学校・中学校では、できなかった経験・体験を多く積み重ね成長につなげていきたいと考える。今後もこの結果が維持できるように日々の取り組みを大切に活動していきたい。	令和8年9月に学校評価委員会を実施。 【主な意見】 豊かな心と仲間との学び 学校生活やさまざまな教育活動を通して、豊かな心を育むとともに、生徒同士が互いに認め合いながら学び合える教育を推進してほしい。 興味・関心を高める授業と行事 社会の変化や時代のニーズを踏まえ、生徒の興味・関心を持ち生活の幅が広がる力につながる授業づくりや魅力ある学校行事に取り組んでほしい。 多様な経験機会の充実 学校内外において多様な体験活動を充実させ、思春期・青年期という大切な時期に、仲間とともに多くの経験を積みながら成長できる機会を提供してほしい。 健康意識と生活習慣の向上 健康への意識を高めるため、食生活や睡眠時間、基本的な生活習慣、日々の体調管理について継続的に指導・支援してほしい。 継続的で安定した教育の実践 生徒を取り巻く生活環境や進路に関する課題が多様化する中であっても、教育の本質を大切にしながら、安定した教育活動を継続してほしい。 宿泊体験など体験活動の推進 宿泊体験をはじめとする生活体験型の活動を充実させ、家庭での生活を仲間同士で互いに理解し合うことと共に食・寝の充実をはかってほしい。 生徒の声に寄り添う取り組み 生徒一人ひとりの悩みや思いに丁寧に向き合い、安心して相談できる環境づくりと十分な対話の時間を確保してほしい。 人間関係づくりの充実 学校生活の中で、スマートフォンを介さずに会話や協働を通じて、お互いを理解し尊重し合える関係づくりを進め、生徒同士や教職員との信頼関係をより深められるよう取り組んでほしい。 人権教育のさらなる充実 人権教育を一層推進し、互いの違いを認め合う姿勢や豊かな人間性、自ら考え主体的に行動する力など、「生きる力」の育成に努めてほしい。 個人情報への配慮と友人関係の育成 生徒の個人情報保護に十分配慮しながら、互いを思いやり、信頼し合える良好な友人関係の構築を支援してほしい。 防災教育と安全対策の充実 地震や台風などの自然災害に備え、日頃から防災意識を高めるとともに、避難経路や避難場所の確認、避難訓練の実施を通じて、災害時に適切な行動が取れる力を育んでほしい。

【まとめ】

学校評価はその結果に基づいて、教育活動と学校運営を改善し、教育水準の向上を図るために行うものです。

「自身の振り返り」「学校運営に関して」「教育活動（学習指導、生活指導、人権・健康・教育）」のいずれの項目でも高評価を得ました。特に教師は授業の改善に取り組んでいるか、教科指導で生徒の質問には丁寧に応えているか、生徒指導では適切な対応をしているかなどです。しかし、学校としてはこれらに満足せず常に点検し、今後もこのような評価を受けていきたいと考えています。

また「生徒・保護者のアンケート」及び「教職員による自己評価アンケート」では多くの項目で高い評価を受けたと同時に、学校としての課題も浮かび上がってきました。それらの課題を改めて検証し取り組む中で、更に教育活動と学校運営の改善を図っていきます。改めて時代に即した教育を行いたいと思います。学年・クラス数が少なく小規模なだけに、学年・クラスの枠をとりはらい、全職員で全生徒・学生をみる意識をさらに向上させます。

今後ともこの学校評価の取組みは続けて参りますので、皆様のご協力をよろしくお願い致します。